

交換留学体験談

高市芽実さん（立川校）

早稲田大学国際教養学部／
ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校



早稲田大学国際教養学部の高市芽実さん。海外就学経験がなかった彼女は、好きな英語をトフルゼミナールでのネイティブ講師の授業を通して、文法や読解力のみならず会話力も磨き、夢の交換留学を手にした。そんな彼女に受験体験談をうかがった。

■交換留学をしようと思ったきっかけはなんですか？

高校時代アメリカのドラマを鑑賞するようになったことがきっかけで英語に興味を持ち、大学時代にアメリカに留学することを目指して現在通っている早稲田大学国際教養学部を志望しました。

■トフルゼミナールで対策をした理由はなんですか？

なんといっても、ネイティブの英語話者の先生がたくさんいらっしゃるからです。トフルゼミナールでは、文法や読解に加え、リスニングやスピーキングの授業も受けることができます。大学受験はもちろん、その先に目指している留学でも活かせる英語力を付けたかった私にとって、ネイティブの先生の授業を受けることができる環境がとても魅力的でした。また、私が受験した早稲田大学教養学部のAO入試や、アメリカ留学にはTOEFL試験を受ける必要があります。この特徴ある試験を受けるためには、英会話教室よりも、整ったカリキュラムや模試が用意されているトフルゼミナールに通うことにしました。

■授業の印象はいかがですか？

私はトフルゼミナールに通うまで、英語は得意ではありませんでした。そのため初めはネイティブの先生の授業についていくのが大変でした。ですが、少人数制の授業のお陰で、授業で理解できない部分を先生に質問しやすく、先生方も生徒ひとり一人が理解できているかとても気を配ってくださったと思います。おかげで最初は難しかった授業にも少しずつ余裕が生まれ、楽しく勉強できるようになりました。

■交換留学選考試験で苦労した点はどんな点ですか？

私の学部では留学が必須のため、学内のほかの生徒たちとの選考を通過しなければいけません。選考の際に必要なのがTOEFL試験の点数と、学校の成績です。一番苦労したのはTOEFL試験で高得点を出すことでした。留学先によっては出願できる最低点がとても高い学校もある上、選考には帰国子女などTOEFL高得点所持者も出願するので、彼らと戦える点を出すのが大変でした。

トフルゼミナール留学センター

■交換留学決定後、実際の留学まで準備すべきことは何ですか？

英語力の点から言えば、リスニング力を出来るだけ高くしておくことです。スピーキングは実際に留学先で周りの人とコミュニケーションをとるうちに伸びてくるので大丈夫です。しかし交換留学の場合、学期が始まればすぐに現地の授業に参加することになるので、その授業が理解できるリスニング力がなければ、単位をとるのに苦労することになると思います。現地の授業にすぐに慣れるためにも、渡航前に鍛えていくことをお勧めします。

■実際に留学をして一番印象に残っている点はなんですか？

印象に残っていることはたくさんありますが、中でも大学の寮で現地のインド系アメリカ人の医学生と2人部屋で暮らしたことが印象に残っています。日本では一人暮らしをしたこともなければ、外国人と生活をしたことも無かったので毎日がとても刺激的でした。また寮がキャンパス内にあるためとてもアットホームで独特の文化があったように思います。



トフルゼミナール留学センター

■留学中に困った点はなんですか？

私の留学先はニューヨーク州の郊外でとても住みやすかった上に、大学の環境も良かったので普段の生活で特に困る点はありませんでしたが、渡航してすぐに肺炎にかかった時がとても大変でした。私の留学先大学は大学病院もついており、学生は無料で診察を受けることが出来たので助かりましたが、学校外で病気や怪我をした際や、留学中に事故があった場合に真っ先にどこに頼るべきなのかは、しっかりと把握するべきだと思います。それから留学先で処方される薬についても日本人には刺激が強すぎる場合もあるようですのでお医者さんに相談すると良いと思います。

■留学経て学んだ点、よかった点を教えてください

留学をして良かったと思うのは、様々な人に出会えた事と、日本では出来ない体験が出来た事です。特に私は留学先がニューヨークだったので、大学内での活動（クラブ活動、寮生活）で得た友人に加えて、ニューヨークに駐在している日本人の方々や留学生と交流することも出来ました。また現地の日系企業で長期インターンをするなど、ためになる経験が出来てとてもよかったです。留学先では勉強も大切ですが、せっかくの機会なので、学内外で課外活動をすることをお勧めします。

■もし留学を経験していなかったら、今のあなたに違いはありますか？

もし留学を経験していなかったら、考え方や将来の展望などが全く違ったと思います。留学する前は、英語力を身に付けて将来は海外に携わる仕事がしたいと漠然と考えていましたが留学を通じて、必要なのは英語力だけではないと実感しました。私が留学で身に付けた中で一番考えさせられたのは「異なる価値観を受け入れること」です。これからグローバル化する社会ではきっと色々な価値観を持った人々と関わったり、一緒に仕事をしたりすることが多くなると思います。実際に異文化を理解する、またはされる事の大変さを経験できたことが、留学する前と違う私をつくったと思います。



受験生へのメッセージ

何を目的に留学するのかを常に考えて、英語力以上に得るもののたくさんある留学を経験してください。



少し前には日本の学生は内向き思考だと良く言われていたと思いますが、私の実感としてはそんなことは無いです。私の大学からもかなり多くの学生が留学していますし、他大学でも増えていると思います。企業への就職活動をしていても思いますが、グローバル化を見越して英語が出来る学生は企業に重宝されると言われる一方留学経験者は珍しいものではなくなっていると感じます。

このような状況は、これから留学を目指す方もぜひ意識して欲しいです。何を目的に留学するのかを常に考えて、英語力以上に得るもののたくさんある留学を経験してください。留学は人生の中できっと最も刺激的で楽しい時間になると思います。私も留学中の楽しい、かけがえのない時間を過ごしたことを思い出せば、留学に行ってもよかったなと思ひ返します。充実した留学生活を目指して頑張ってください！！